

学域名	人間社会学域
学類名	経済学類

学類のディプロマポリシー(学位授与方針)
 以下の5つの人材養成目標に掲げ、この人材養成目標に到達した者に学士(経済学)の学位を授与する。
 1. 幅広い教養、知識、判断力を持った社会で活躍できる人材を養成する。
 2. 経済学・経営学の専門知識を持った人材を養成する。
 3. 現代社会に対する強い問題意識をもち、自分自身の力で課題を発見し、解決する能力をもった人材を養成する。
 4. 高いコミュニケーション能力(外国語によるものも含む)、プレゼンテーション能力、IT能力を養う。
 5. 地域社会が抱える問題に関心をもち、そこに積極的に関わることでできる人間性豊かな人材を養成する。

学類のOPカリキュラム編成方針
 2019年度の入学者1年次には、国際基督教大学での勉学および学力の向上に集中するとともに、人間的な専門科目を履修する。2年次からは本格的に開始される専門教育のカリキュラムは、人材養成目標に鑑みて、幅広い知識を身に着けるとともに、人材養成目標にみるように、各自の興味関心を深める専門性の確立を目的にフレキシブルに履修科目が選択できるよう設計されている。履修科目の選択に際しては、進路選択の方向性を明確にする。2年次からは専攻科目を履修する。3年次からは専攻科目を履修する。4年次からは専攻科目を履修する。5年次からは専攻科目を履修する。6年次からは専攻科目を履修する。7年次からは専攻科目を履修する。8年次からは専攻科目を履修する。9年次からは専攻科目を履修する。10年次からは専攻科目を履修する。11年次からは専攻科目を履修する。12年次からは専攻科目を履修する。

学類のカリキュラム

科目番号	授業科目名(2019年度入)	授業科目の主題 この授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等	学生の学習目標	学年	単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
10101	学域GS言語I	The Humanities GS Language Course (HGSL) I aims at development of English proficiency achieved in the first-year GS language classes, as well as acquisition and practice of basic knowledge and skills which the majored academic discipline requires. This course is closely linked with the HGSL II, focusing more on understanding the discipline of the specific academic field than on its practical application.	Students who have completed the course will have English reading, listening, and grammar competency corresponding TOEIC score range: 550-600.	2	1	◎												◎
10201	学域GS言語II	The Humanities GS Language Course (HGSL) II aims at further development of English proficiency achieved in the first-year GS language classes, as well as acquisition and practice of more advanced knowledge and skills which the majored academic discipline requires for presentation and essay writing. This course is closely linked with the HGSL I, emphasizing the critical analysis of research subjects of the specific academic area.	Students who have completed the course will have English reading, listening, and grammar competency corresponding TOEIC score range: 600-650.	2	1	◎												◎
13501	基礎統計学	経済分析に使われる統計手法の基礎を学習する。	基礎的な統計計算が一通り出来るようになる。	2	2		◎											○
13502	マクロ経済学 I	マクロ経済学を中心として経済学の基礎的な考え方や分析方法を学ぶ。	1. 市場経済の機能と基礎的なマクロ経済理論を体系的に身につけることができる。 2. マクロ経済に関する諸概念を理解し、自分の力でそれらを現実経済に適用し、議論を展開することができる。	2	2	◎	◎					○	○	○				○
13503	ミクロ経済学 I	市場の仕組みを理解する	1. ミクロ経済学を学習する上で必要となる諸概念を理解することができるようになる。 2. 需要曲線の概念を理解することができるようになる。 3. 供給曲線の概念を理解することができるようになる。	2	2	◎	◎			△	△	○	○					
13504	Basic Economics A	To learn basic theories on economy.	To know concepts used in the courses of the school of economics.				◎											
13601	経済学史	経済思想の形成過程の検証	近代の成立とセットで成立した経済思想を学ぶことにより、近代の意味について考える。	2	2	○						○	◎					
13602	日本経済論	現代日本経済に生じた事象の因果関係を理解 する	1. 戦後日本経済の実相を理解できるようになる。 2. 事象を複眼的に捉えることができるようになる。	2	2	○	◎			△	◎			△				
13603	経営学概論	経営概論・経営管理論・経営戦略論の概要とこれらに関連領域における基礎的知識の伝授	経営概論・経営管理論・経営戦略論とこれらに関連領域における代表的概念と学説、理論的系譜を理解する。				◎		◎									
13604	Basic Economics B	To learn basic knowledge on economy.	To acquire knowledge prerequisite for the courses of the school of economics.				◎											
23001	経済学入門	ミクロ経済学とマクロ経済学を体系的に学ぶための下準備	1. ミクロ経済学やマクロ経済学で使われる基本的な用語の概念を理解する。 2. ミクロ経済学やマクロ経済学を学ぶために最低限必要な数学ツールを習得する。	1	1	◎	◎											
23002	経営学入門	現代の企業とその経営に関する基本的な知識と基礎理論の紹介	現代の企業がどのように設立され存続し成長するかを理解する。	1	1	○	◎											
23003	情報処理	情報化社会の進展に伴い、情報処理能力を高めるために、パソコンをしくかつ有効に活用することを学ぶ。	1. 情報処理に対する基本的な知識を得ることができる。 2. パソコンの基本操作が可能である。 3. 最適化問題に対する解法ツールが操作できる。	2	1		△		○							○	◎	○
23100	演習			3	8													
23200	卒業研究			4	2													
23210	海外語学研修A	海外滞在経験を通じて、国際経済社会への理解を深めるとともに、外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。	1. 海外での経験を通じて、国際経済社会への理解を深める。 2. 外国語でのコミュニケーション能力を鍛える。	2	2						○							◎

学域名	人間社会学域
学類名	経済学類

学類のディプロマポリシー(学位授与方針)
 以下の5つの人材養成目標を掲げ、この人材養成目標に到達した者に学士(経済学)の学位を授与する。
 1. 幅広い教養、知識、判断力を持った社会で活躍できる人材を養成する。
 2. 経済学・経営学の専門知識を持った人材を養成する。
 3. 現代社会に対する強い問題意識をもち、自分自身の力で課題を発見し、解決する能力をもった人材を養成する。
 4. 高いコミュニケーション能力(外国語によるものも含む)、プレゼンテーション能力、IT能力を養う。
 5. 地域社会が抱える問題に強い関心をもち、そこに積極的に関わることのできる人間性豊かな人材を養成する。

学類のOPカリキュラム編成方針
 学類の学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがよく求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)
 1. 幅広い教養、知識、判断力を持った社会で活躍できる人材を養成する。 2. 経済学・経営学の専門知識を持った人材を養成する。 3. 現代社会に対する強い問題意識をもち、自分自身の力で課題を発見し、解決する能力をもった人材を養成する。 4. 高いコミュニケーション能力(外国語によるものも含む)、プレゼンテーション能力、IT能力を養う。 5. 地域社会が抱える問題に強い関心をもち、そこに積極的に関わることのできる人間性豊かな人材を養成する。

学類のカリキュラム

科目番号	授業科目名(2019年度入試)	授業科目の主題 この授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等	学生の学習目標	学年	単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
45212	国際開発論1E	The Main objective of this course is to understand theories of International development which tries to improve the economic and social situation of developing countries.	Students who take this course are supposed to understand theories of international development.	2	1	◎	○	◎		◎	△	○	◎				○
45213	国際開発論2E	The Main objective of this course is to understand theories of International development which tries to improve the economic and social situation of developing countries.	Students who take this course are supposed to understand theories of international development.	2	1	◎	○	◎		◎	△	○	◎				○
45214	アジア経済史AI	中国を例に近代アジア経済史の基礎知識を学ぶ。	近代アジアにおける資本主義的経済発展について再考することを目標とする。	2	1		○	○				◎			△		
45215	アジア経済史AII	中国を例に近代アジア経済史の基礎知識を学ぶ。	近代アジアにおける資本主義的経済発展について再考することを目標とする。	2	1		○	○				◎			△		
45216	アジア経済史BI	近現代中国における資本主義化・工業化の特徴。	近現代東アジアにおける資本主義的発展の意義について理解することを目標とする。	2	1		○			○	◎				△		
45217	アジア経済史BII	近現代中国における資本主義化・工業化の特徴。	近現代東アジアにおける資本主義的発展の意義について理解することを目標とする。	2	1		○			○	◎				△		△
45218	日本経済史	近代日本経済に生じた事象の因果関係を理解する。	1. 日本帝国主義を軸に日本経済の真相を理解できるようになる。 2. 事象を複眼的に捉えることができるようになる。	2	2		◎	○				○	△		△		
45219	社会言語学	日常的な日本語から日本社会を見る	日本語と日本社会との関連を見る目を養うことを目標とする。	2	2	○											○
45220	対照社会言語学	対応する場面で使用される日本語と外国語を比較する。	日本語と外国語の発音性の異同を分析できるようになる。	2	2	○				○							○
45300	経営管理論	経営管理論の潮流	企業において経営管理がいかに実践されてきたのか、理論と実践の両面から理解できるようになる。	2	2		◎		◎	○	△	○					
45301	人的資源管理論	日本企業の経営管理	日本企業がどのように経営管理を実践しているのか、その変遷と現状について理解できるようになる。	2	2		◎		◎	○				○	◎		
45302	経営情報論	企業の組織と情報	企業の組織現象を情報に注目して理解する。	2	2	△			○								○
45303	経営戦略論	企業経営と戦略	企業経営における戦略の役割と経営戦略について理解する。	2	2		○		◎						△		
45304	マーケティング論	マーケティングの考え方や基礎理論を学ぶ。	企業のマーケティング活動について、基本的な理解ができるようになる。	2	2		◎		◎						◎		○
45305	生産システム論	生産システム概念を総合的視点から言及しながら、次世代へつなぐための知的生産システムの基礎理論・手法について講義する。	1. 生産システム概念と原理について、理解できるようになる。 2. 次世代生産システムの実現のために求められる要件について議論できるようになる。	2	2		○		◎								○
45306	経営工学	生産システムの運営に関わる生産管理の考え方や技法について講義した上、その事例を紹介する。	1. 生産管理の概念と基礎知識について、理解できるようになる。 2. 生産管理の抱えている諸問題を明らかにした上で、その解決のための基本的な考え方や方法論について議論できるようになる。	2	2		○		◎								○
45307	情報分析論	情報(データ)分析の方法論	情報分析のための統計的データ解析に基づいた方法論を学ぶ。	2	2	○	◎								○	◎	◎
45308	簿記会計論	簿記・会計基礎	伝統的簿記実践の基本的構造と機能を理解する。	2	2		◎		○								
45309	現代会計論	複式簿記機構に基づく現行会計モデルの記述・分析	複式簿記の応用的知識を身につけるとともに、現行会計モデルの理論的特徴、構造、特徴、および課題を理解する。	2	2		◎		○								○
45310	財務会計論	財務諸表の構造的理解	会計情報の外部利用者として、財務諸表の情報内容について構造的に理解できるようになる。	2	2	○	◎	△	◎	△							△
45311	財務分析論	財務諸表に基づく経営分析	会計情報の外部利用者として、財務諸表に基づく経営分析が実行できるようになる。	2	2	○	◎	△	◎						○	○	△

学域名	人間社会学域
学類名	経済学類

学類のディプロマ・ポリシー(学位授与方針)

以下の5つの人材養成目標を掲げ、この人材養成目標に到達した者に学士(経済学)の学位を授与する。

- 幅広い教養、知識、判断力を持った社会で活躍できる人材を養成する。
- 経済学・経営学の専門知識を持った人材を養成する。
- 現代社会に対する強い問題意識をもち、自分自身の力で課題を発見し、解決する能力をもった人材を養成する。
- 高いコミュニケーション能力(外国語によるものも含む)、プレゼンテーション能力、IT能力を養う。
- 地域社会が抱える問題に強い関心をもち、そこに積極的に関わることのできる人間性豊かな人材を養成する。

学類のOPカリキュラム編成方針)

【2019年度の入学者】1年次には、国際基督教大学での勉学および語学力の向上に集中するとともに、人間的な専門科目を履修する。2年次からは本格的に開始される専門教育のカリキュラムは、人材養成目標1に鑑みて、幅広い知識を養得するとともに、人材養成目標2にみるように、各自の興味関心を深める専門性の確立を目的にプレリンプルに履修科目が選択できるよう設計されている。履修科目の選択に際して適切な科目選択がなされるよう、科(2回)アドバイザー教員と面談する機会が確保されている。2年次の01から03にかけては専門系選科科目群を優先的に履修し、2年次04からの選択系選科科目群の履修をより深く、専門知識をより深く(身につけるべく、エコノミクスコースもしくはグローバル・マネジメントコースに配属される。エコノミクスコースでは理論・政策系科目群およびグローバル系科目群の、グローバル・マネジメントコースではマネジメント系科目群およびグローバル系科目群の専門科目を重点的に履修する。演習では、各自の関心に則して専門分野をより深く探求し、調査研究活動や論文執筆等に取り組み、演習での研究活動を通じて、人材養成目標3、4、5の実現が期待される。なお、人材養成目標3および4の実現をめざして、経済学類で提供されている科目の一部には能動的学習が導入されている。また、海外語学研修やインターンシップも単位化されている。

学類の学習成果(◎=学習成果を上げるために履修することがよく求められる科目、○=学習成果を上げるために履修することが強く求められる科目、△=学習成果を上げるために履修することが求められる科目)

学類のカリキュラム

科目番号	授業科目名(2019年度入)	授業科目の主題 (この授業科目の中心となる題目・問題・テーマ等)	学生の学習目標	学年	単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
45312	管理会計論	企業および組織の活動をコントロールするために使われる計数的手段	管理会計が、何によって、誰のために何をするのかということが理解できるようになる。	2	2	○	◎		◎									
45313	証券市場論	証券市場論、株式会社論	主要国(オランダ、イギリス、アメリカ、日本)の証券市場創成史、国民経済と証券市場との関連について一通り理解する。	2	2	○	○	○	◎	○	△			○	△	△		
45314	証券論	証券市場論、株式会社論	有価証券(株式、債券)と企業金融について理解を深める。また、発展学習である敵対的買収と買収防衛策についても一通り理解する。	2	2	○	○	○	◎	○	△			○	△	△		
45315	コーポレートファイナンス	コーポレート・ファイナンス	ファイナンスに関する基本的な知識や概念を演習等を通して体系的に身につけることを目的としている。	2	2			○	○					○				
45316	パーソナルファイナンス	パーソナル・ファイナンス及びポートフォリオ理論	ファイナンスに関する基本的な知識や概念を理解できるようにする。	2	2			○	○					○				
45317	国際会計論	The basic theory of Accounting	This course is designed for students to understand basic principles of accounting for practical use.	2	2	○	◎		◎								○	
45318	国際経営論	国際経営論の体系的理解	多国籍企業のマネジメントの仕組みを総合かつ体系的に理解できるようにする。	2	2	○	◎		◎					○			○	
45319	国際マーケティング論	マーケティングの知識を応用する	研究開発から市場までの一連の企業活動を理解し分析できるようになる。	2	2	○	◎	△	◎					○	○	◎	○	
45320	地域マネジメント	地域マネジメントの事例と手法、理論を学ぶ	地域資源の発見、活用、評価という一連のプロセスを理解し分析できるようになる。	2	2	○								◎	○	◎		○